1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　7 月 3 日発行　SSKR 増刊通巻第 8713 号

SSKR

にじの会だより

Vol.70

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－3
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：http://nijinokai.org

２０１９年度重点課題「寄り添う支援」の実践へ
～意思決定支援と ICT 活用

にじの会では、２０１２年度に法律の流れに添って本人の強みに着目した個別支援計画に改善してから７年が経過しています。この間に、虐待防止とは何か・利用者の意思決定支援とは何かと職員全体研修や各部署で協議しながら、各自の支援内容を振り返り反省を積み重ね支援に取り組んできました。支援内容は確実に向上し、本人主体の支援内容になってきていると思います。

今年度は更にそれを推し進められるよう、にじの会の設立趣意に添った「寄りそう支援」を利用者支援の重点課題として推進するに当たり、日頃の支援態度・支援者の心の持ち方などを各支援スタッフがどのように考えているかを確認する機会として、４月２７日（土）の職員全体研修の中でグループワークを行い「寄りそう支援」そのものの職員の感じていることや支援上の留意点などを他部署の職員たちと膝を交えて真剣に話し合いました。活発に意見交換することで、心を使って寄り添うこと、相手を大切に思っているか、何を思い感じているか等、常に相手の立場に立って支援に臨むことが重要なポイントであることを、改めて確認し合いました。

障害者総合支援法施行３年後の見直しで提示された「意思決定支援ガイドライン」でも意思決定支援の基本原則は「自己決定の尊重に基づき工夫を凝らしながら行うことが必要である」と明示されています。にじの会では本人の自己決定をサポートするツールとして、昨年度より電気通信大学・水戸准教授のご助力により試行してきたＩＣＴ支援を、今年度は法人全体で取り組んでいます。利用者に寄り添いながら意思決定支援を初め、自己選択、自己表現、感情表現等による利用者の主体性を引き出せる支援を目指して参ります。

（理事　三上君子･統括主任　新津健朗）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　7 月 3 日発行　SSKR 増刊通巻第 8713 号

にじアート　公務員介護等実地体験実習（5 月 27 日～31 日）

「公務員介護等実地体験実習」は、人事院公務員研修所が上級職公務員の初任研修の一環として行っている事業で、毎年にじアートは 5 月に数名の実習生を 1 週間ずつ受け入れています。今年度で 11 回目を迎えた今回は、3 名の方々が 1 週間実地体験されました。各活動を利用者と一緒に楽しく参加したことで、事業内容だけでなく、地域の施設としての役割などの認識がさらに深まったようです。

↑（左より　厚生労働省：飯田さん　総務省：宮本さん　外務省：長谷川さん）

３名のみなさん、体験実習大変お疲れさまでした。

「1 週間ありがとうございました！利用者の皆様がその人らしさを活かした活動を、活き活きと取り組まれている姿が印象的でした。地域の皆様にも、さらに活動内容を広く知って頂けるといいですね。（厚生労働省　飯田龍洋さんより）」

大沢にじの里自衛消防隊 2 年連続優勝！！

6 月 18 日に株式会社 SUBARU 東京事業所（三鷹市）で行われた、東京消防庁主催の三鷹市自衛消防訓練審査会において、大沢にじの里自衛消防隊が 2 号消火栓の部で優勝しました。

昨年に引き続いての優勝で、染谷スタッフ（生活 1F）は、昨年は隊員役で、今年は指揮者役で参加しました。今回隊員役の中村スタッフ（園芸）は初参加での栄誉となりました。　（設備・防災　金子 修）

染谷スタッフ(右)と中村スタッフ

第 10 期役員のご紹介（任期２０１９年６月１５日～２０２１年６月定時評議員会）

１、理事　定員７名

石崎 優仁　　石崎 茂子　　三上 君子　　比企 通男
新津 健朗　　田中 克樹　　佐藤 智観

２、監事　定員２名

狩野 順　　熊井 利廣

【新任役員】

理事　田中 克樹
大沢にじの里日中事業統括

理事　佐藤 智観
未来工房にじ統括

監事　熊井 利廣
明治大学公共政策大学院講師

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　7 月 3 日発行　SSKR 増刊通巻第 8713 号

にじの会初代理事長石原英雄先生のご逝去を悼む

去る 5 月 25 日に当法人初代理事長の石原英雄先生がお亡くなりになられました。昨年 8 月に脳梗塞で入院され、退院後リハビリされておられましたが、急な心臓発作で亡くなられました。享年 87 歳でした。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

石原先生は調布養護学校を退職後、にじの会設立準備会代表として法人設立認可のため尽力され、設立後は理事長として運営体制の確立のため職員指導を重点に取組まれました。ご家庭事情で 4 年で理事長を退任されましたが、その後も毎年の新任職員研修で福祉職員の心構えを話してくださいました。知的障害児や家族の困難な状況に手をつかねている行政に対し強く抗議するとともに、自ら施設開設に加わり、にじの会の施設を開所できた時「やっと罪滅ぼしができる」と喜んでおられた先生のお気持ちを忘れることなく、障害者が普通の生活ができる地域社会を創るため、にじの会一同、努力を続ける所存です。石原先生、本当にありがとうございました。

（にじの会理事長　　石崎優仁）

石原先生を偲ぶ

石原先生は調布養護学校の校長の時、職員に多くの話をして下さいました。印象に残る話を二つ紹介します。障害児学校に入職して間もない教師が「毎日うんちやおしっこの世話ばかりで、大学で学んだ事が何の役に立っていない。」と嘆いたのです。それを聞いた先生は「障害児教育はそこから始まるんだ。そんな事もわからない奴は辞めてしまえ」と一喝したのです。障害のある子どもに寄せる愛情は人一倍強かったと思います。弱者の哲学を持った先生でした。

石原先生は職員講話の中で「教師は子どもの事だけ考えるだけでなく、家族の幸せも考えなくてはいけない」と強調されました。そのきっかけとなったのは「この子を残して先には死ねない」と暗に親子心中をほのめかす母親の話を聞いた時からだそうです。子どもの背後にいる家族の苦しみや悩みに気が付かなかったことに愕然としたそうです。それ以来、教師は家族から頼りにされる存在であれ、と諭すようになったそうです。

1997 年 にじの会は社会福祉法人法人格をめざす活動を開始しました。この夢を実現させる為、指南役として真っ先に名前が挙がったのが石原先生でした。先生が退職して 7 年後の事です。私達の要請に二つ返事で引き受けてくださいました。その後は法人設立準備会の取り纏めや都との交渉の先頭に立ち、2001 年初代理事長として就任されました。事業を開始した当初は様々な問題に直面しましたが、その都度、職員やご家族の方々に、ある時は厳しく、ある時は優しく対処して下さいました。もう石原節を聴くことは出来ませんが、先生は地上の星となって今も私たちの心に輝いています。

（にじの会理事　比企通男）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　7 月 3 日発行　SSKR 増刊通巻第 8713 号

2019 年度にじの会一泊旅行報告

ディズニーコースの報告

4 月 18 日から 19 日にかけて東京ディズニーランド・葛西臨海公園へ旅行に出掛けました。両日とも天候に恵まれ、日差しも強く暑いくらいでした。ディズニーランドでは、好きなアトラクションに乗ったり、買い物をしたりと夢の国を楽しまれ、宿泊した東京ベイ舞浜ホテルでは、コース料理（フランス料理）を皆さん満喫されていました。ホテルの部屋からは花火や海も見え、特別な夜になったと思います。二日目の葛西臨海公園では、水族園を楽しむグループもいれば、周りの公園を散策するグループも居て、皆さん各々に楽しんでいました。（担当：對馬純世）

伊豆コースの報告

５月１６日から１７日に静岡県伊豆方面へ旅行に出掛けました。１日目は、とてもいい天気で伊豆シャボテン公園ではカピバラ、リスザル始め、様々な可愛い動物との触れ合いや珍しいサボテン等を鑑賞し楽しみました。宿泊する伊藤園ホテル熱川では、お肉料理、お寿司、旬の野菜を使用したサラダ、デザート等、たくさんの美味しい料理を楽しみました。また食後はカラオケや卓球など行い、皆さんで大変盛り上がりました。２日目は修善寺にある虹の郷に行き、レトロな雰囲気を感じさせる建物やフェアリーガーデン等、ロムニー鉄道で移動したりとイギリスやカナダの街並みを楽しむ事が出来ました。（担当：山下典孝）

日光コースの報告

5 月 23 日～24 日で日光旅行に行きました。2 日間共に天候に恵まれ、東武ワールドスクエア、日光江戸村と気温も高く、歩行は大変でしたがゆっくり観光できました。東武ワールドスクエアでは普段見られない世界の有名建築物を観覧出来ました。日光江戸村では江戸の町や人物等を見て貴重な体験ができました。鬼怒川グランドホテルでは、ゆっくり食事や温泉を満喫し、食後のカラオケではそれぞれの好きな曲をリクエストして盛り上がっていました。(担当：大田裕介)

箱根コースの報告

箱根コース旅行は 5 月 30 日から 31 日にかけて行われ、移動には複数の公共交通機関を利用しました。特急ロマンスカー車内では皆さんリラックスした様子で過ごしていました。箱根彫刻の森美術館では食事後にグループ毎に分かれて美術館の散策を行い、様々な展示物の鑑賞や体験を楽しんでいる方もいました。ホテルは箱根パークス吉野に宿泊し、良い雰囲気の中でゆっくりと過ごすことができました。夕食時は会席料理を堪能しながらカラオケを行い、大変盛り上がりました。翌日は箱根湯本駅付近の散策を行いました。昼食は湯本富士屋ホテルのランチブッフェにて、上質な料理の中から好きな料理を選択し、皆さん満足した様子で参加していました。（旅行担当：杉本）

鴨川コースの報告

6 月 13 日～14 日で鴨川方面に一泊二日で旅行に行きました。2 日間共に雨も降らず、鴨川シーワールドとマザー牧場の散策を満喫することが出来ました。シーワールドでは、シャチやアシカのショーが開催され、その迫力に見入っている方が多かったです。また、希望者で夜の水族館探検に参加し、普段見ることのできない夜のシャチや魚たちを見ることが出来ました。次の日のマザー牧場では、羊や馬、あひるの大行進などの鑑賞と、牧場のソフトクリームやステーキなど食事も満喫されていました。2 日間動物や自然と触れ合い、笑顔溢れる旅行となりました。（旅行担当：相馬）

ハワイアンズコースの報告

6 月 20 日～21 日で福島方面に一泊二日で旅行に出掛けました。スパリゾートハワイアンズのプールでは、安全には配慮して、色々なプールを移動して楽しむことが出来ていました。夜のビーチシアターのショーでも舞台に上がり、一緒に踊りを体験するコーナーにて、大勢の利用者の方が積極的に参加されていました。2 日目は、アクアマリンふくしまに行き、お目当ての展示コーナーを効率よく散策して、魚の展示を色々な角度で見ることができ、広大な敷地を余裕持って見学することができました。（旅行担当：杉原）

にじの会就労支援事業の状況報告

ワークショップハーモニー就労定着支援事業の報告

就労定着支援は平成 30 年度 4 月より新たに創設された障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービスの一つです。就労後、6 カ月以降から最大 3 年間利用可能です。支援の内容は、生活面の支援、就労先に訪問し実態の把握、課題点の共有や改善を行う事、つまり、働きやすい環境づくりのお手伝いを行う事により、就労先での定着を図っていく事が目的となっています。障害者の一般企業の雇用率が 2.2%へと引き上げられ、民間企業への障害者就労は 2018 年 6 月 1 日現在の集計で 50 万人を超えました。就労定着支援は障害者就労支援の中で、今後存在意義が求められる事業になっていきます。ワークショップハーモニーでは、平成 30 年 10 月から定着支援が開始しています。現在、卒業生の方 7 名の方が就労定着支援を利用されています。それぞれ、個性も課題となる事も異なりますが、お一人おひとりにとっての就労が安定して続けられることを願いつつ、スタッフも共に悩み、より良い環境作りのため、奔走しています。「にじの会の寄り添う支援」を大切に質の良い定着支援を目指していきたいと思います。

（就労移行支援・就労定着支援　川頭　愛）

未来工房にじ就労継続支援 B 型事業の報告

2019 年度の未来工房にじ（就労継続支援Ｂ型）の事業方針は、これまでの生産中心の運営から、以下の点を重視した運営と支援内容に切り替えています。

１．社会人として生活できる力を向上していく（社会参加）

２．利用者主体の生産活動により、社会に受け入れられる製品を作り、自身の工賃を獲得する。

３．生産活動以外の活動を積極的に実施（自己の能力発揮・心身の機能向上）

４．利用者同士の共同活動を通じて、人間関係力を向上していく（コミュニケーション力）

利用者主体の生産活動を行いながら、社会人として生活する力の向上を目指し、利用者の状況（年齢・体力など）に適合する活動を提供できるよう取り組んでいきます。（未来工房　佐藤智観）

パン工房

食品加工工房

織り工房

ショップ活動

ワークショップハーモニーA 型事業の報告

大沢コミュニティ祭・新川中原コミュニティ祭に出店

大沢コミュニティ祭

新川中原コミュニティ祭り

今年の大沢コミュニティ祭と新川中原コミュニティ祭りは、5 月 18 日（土）～19 日（日）の 2 日間で同日にそれぞれ開催されました。当日まで天気が心配されましたがすばらしい快晴となり、それぞれの会場には地域の多くの方々が来場され、子供たちのたくさんの笑顔が溢れていました。
どちらも地域で長い歴史を持つこのお祭りに、にじの会も毎年模擬店や展示などで参加させて頂いております。また、このお祭りを開催するにあたり、住民協議会の方々や地域の方々を中心とした実行委員の方々、参加ボランティアの方々などが、数ヶ月も前から打合せを重ね、前日の会場準備やお祭りの後片付けなどにも取り組まれました。毎年参加させて頂く中で、地域の多くの方々に喜んでもらいたいという実行委員の方々の思いが、地域の笑顔につながっていると強く感じます。　　（就労Ａ型事業　清水宏一郎）

安全でおいしいにじの豆富・揚げは三鷹市・武蔵野市の学校給食に

ワークショップハーモニーの豆富工房で製造している絹豆富、木綿豆富、生揚げ、油揚げ等は、厳選した国内産丸大豆を使用しています。毎日絞りたての豆乳をそのままの濃度で製造するため、お豆富は大豆本来の風味を味わうことが出来ます。また生揚げ、油揚げは国産 100%の純正米油を使用し、米油の原料となる米ぬかはビタミンやミネラルも多く含まれており、カラッと揚がり、酸化安定性にも優れ、油っぽさなく美味しく頂けるのが特徴です。

現在、三鷹市内の小･中学校や武蔵野市の北町調理場、保育園、児童施設、飲食店などへ定期的に納品させて頂いております。にじの会が運営している喫茶･ショップ「オーソレミオ」や「大沢ハーモニー」、「ハーモニーガーデン」の 3 店舗でお買い求め頂けます。（豆富工房　加藤慎二）

ハーモニーガーデン夏メニューが登場しました

★「夏のコースプラン」が新しくなりました！おすすめはアルコール飲み放題コース新価格 4200 円です。(ソフトドリンク飲み放題は 3500 円)ハーモニーのお豆富やスモークなどを使用したお料理 5 品・ピッツァ・サラダと続き、締めはもちろん夏の名物冷製パスタです。ランチでも毎日違う冷製パスタを提供し、連日好評をいただいております。暑気払い等ぜひパーティーでご利用下さい。

★木・金のディナータイム、土曜日のグランドメニューも新しくなりました。自家製スモークチキンとバジルペーストのピッツァや小えびとアボカドのレモンクリームパスタなど夏限定メニューも登場しています。また、この時間帯はパスタとサラダのお持ち帰りもできるようになりました。

★新しい取り組み　インスタグラムを開始し、リアルタイムでお料理の写真等を配信しています。またＱＲコード決済も開始予定です。さらに家族で楽しめる「ファミリーコース」も考案中です。時代に即し、まだまだ進化していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　7 月 3 日発行　SSKR 増刊通巻第 8713 号

にじの会 2019 夏
ギフトカタログ

「安全・安心・良質」

心を込めて手作りしております。
皆様のご注文をお待ちしております。

新茶＆クッキー3種・フルーツマフィンセット

商品番号 01 2,640 円

こだわりクリームチーズ豆乳プリン・クッキー3種・フルーツマフィンセット

商品番号 02 2,400 円 冷蔵

マフィン2本＆クッキー3種セット

商品番号 03 2,490 円

こだわりクリームチーズ豆乳プリン

04 6 個入り 1,630 円
05 8 個入り 2,090 円
06 10 個入り 2,550 円

冷蔵

こちらの商品は袋包装でお届けします！

おまかせスモーク６種セット

商品番号 07 3,200 円 冷蔵

おまかせスモーク４種＆マフィンセット

商品番号 08 3,780 円 冷蔵

おまかせスモーク特選セット

商品番号 09 4,300 円 冷蔵

気軽だけどとっても喜ばれる♪
多摩のおみやげおまかせセット

商品番号 10 1,600 円 冷蔵

ご注文方法やカタログの詳細につきましては、「にじの会」ホームページ harmonygarden. Jp をご覧頂くか、下記までお問い合わせ下さい。

≪お問い合わせ先≫

ワークショップハーモニー　三鷹市大沢 1-1-43

TEL 0422-26-8620　FAX 0422-30-2021　担当：伊藤

『にじの会だより 70 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-007　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412